

<<感震ブレーカーを設置しましょう！>>

大きな地震では 揺れによる被害 の他に 火災 が心配です。
停電が続いた後、再通電した際に出火する「通電火災」には特に注意が必要です。



最近の電気製品は倒れると自動的に消えるから安心だし、
そもそも我が家はエアコンのみで、電気ストーブなどはないから心配ない?!

と思い違いをしていませんか？

本震では倒れなかった家具や電化製品が余震によって倒れることがあります。
又、壁の中や天井裏でも再通電時にショートして火災となることがあります。
電気が流れているところは全部通電火災の原因になる可能性があるのです！



1. 通電火災が起こる原因

停電状態から通電されるとき「**火災**」に注意！



特に危険なのは避難中
や不在時に停電が復旧すると、
火災の発見が遅れ、
被害が拡大すること
です

(北陸電力 HP より)

2. 通電火災を防ぐためにブレーカーを切りましょう

通電火災を防ぐために最も有効なのは、「避難する際に
ブレーカーを落とす」ことです。

かし、避難時に必ずブレーカーを落とせますか？不在
心配もあります。

3. 感震ブレーカーを設置しましょう

「感震ブレーカー」は、地震の揺れを感知して自動で電
遮断する便利な装置です。不在時に地震があっても安心です。

今年度 横浜市は感震ブレーカーの設置に対する補助金交付を予定しています。申請につい
ては発表があり次第、お知らせします

注意点

- ✓ 感震ブレーカーの種類によっては医療機器に影響がある場合もあるので、注意が必要です。
- ✓ 復電時は、ガス漏れや電気製品の安全を確認してから 電気を入れてください
- ✓ 風水害による停電などでは作動しないので、手動でブレーカーを切ってください。



感震ブレーカー等の設置の有無に関わらず、
災害時に自宅から避難する際はブレーカーを必ず切ってください！



通電火災を予防して、自宅も街も 一緒に守りましょう